

2019年度エネルギー講演会

テーマ

入場無料

# 北海道ブラックアウト(大停電)の教訓 ～電力の強靱化を考える～

昨年9月の北海道胆振東部地震において、日本初となる地域全体のブラックアウト(大規模停電)が発生しました。近年、九州においても激甚災害が頻発しており、今回の大規模停電の原因や対策、九州における発生の可能性などについて、エネルギー政策や電力の安定供給に詳しい専門家にお話を伺います。

■ 日 時 **2019年6月19日(水) 15:00～17:00**

※開場 14:30

■ 場 所 **電気ビル共創館 カンファレンスA大会議室**  
福岡市中央区渡辺通二丁目1-82 電気ビル共創館3階

■ 講 師 **小笠原 潤一 氏**

(一般社団法人日本エネルギー経済研究所 研究理事)



(略歴)

1996年3月 青山学院大学大学院 国際政治経済学研究科卒業  
(国際経済学修士)、1995年10月(財)日本エネルギー経済研究所  
所入所、政策予測研究グループ、総合研究部第2研究室、2018  
年10月から電力・新エネルギーユニット担当補佐・電力グループ  
マネージャー・研究理事。

電力システム改革専門委員会(H24～)、天然ガスの燃料転換・  
高度利用に関するワーキンググループ(H21)、再生可能エネル  
ギー等の熱利用に関する研究会(H21)、低炭素電力供給システ  
ムに関する研究会・新エネルギー大量導入に伴う系統安定化対  
策・コスト負担検討小委員会(H20)など政府関係委員等を歴任。

■ 定 員 **160名** (定員になり次第締め切らせていただきます。)

■ 応 募 次のアドレスの申込画面からお申し込みください。

<https://ssl.q-enecon.org/koen/form.php>

※スマートフォンの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

